

- 問1 関東地方に位置するある県は、工業出荷額が約13兆円に達し、製造業の中でも特に印刷業の規模が大きいという特徴があります。また、農業面でも全国有数の産出額を誇り、米の産出額が東京都や群馬県を上回るこの県の名として正しいものはどれですか。 (2025年 埼玉県公立入試 類似)
1. 千葉県 2. 神奈川県 3. 埼玉県 4. 茨城県
- 問2 農業産出額が全国トップクラスであり、工業面では京葉工業地域を擁し、石油・石炭製品の製造品出荷額が県内で第1位となっている都道府県はどこですか。 (2016年 山形県公立入試 類似)
1. 千葉県 2. 愛知県 3. 鹿児島県 4. 静岡県
- 問3 ある統計資料において、都心部の地価が非常に高水準で推移しているのに対し、郊外の地価は低く抑えられており、それに伴って郊外の人口が増加している傾向が見られました。この現象の背景にある仕組みとして正しいものはどれですか。 (2021年 群馬県公立入試 類似)
1. 住宅購入費用を抑えたい人々が、地価の安い郊外を選択して居住するため。 2. 地価が高い地域ほど生活環境が良好であるため、人々が無理をしても都心部に移住するため。 3. 郊外は都心部に比べて交通の利便性が悪いため、土地の価格が下落し人口が減少するため。 4. 都心部の地価が高騰することで、企業のオフィスがすべて郊外に移転し、職住接近が実現したため。
- 問4 日本の外国人労働者に関する統計において、中国、ベトナム、フィリピンに次いで4番目に多い約10万人の労働者数を記録し、特に群馬県や愛知県などの工業が盛んな地域に多く居住している人々がいます。自治体の窓口においてポルトガル語での支援体制が整えられていることが多いこの人々は、どこの国にルーツを持っていますか。 (2018年 鳥取公立入試 類似)
1. ブラジル 2. ペルー 3. ネパール 4. インドネシア
- 問5 ある工業地域の出荷額の割合を示した統計資料によると、機械工業が約四十五パーセントと最も大きな割合を占め、次いで食料品が約十五パーセント、金属が約十四パーセント、化学が約十パーセントとなっています。このように機械工業を中心に多種多様な工業が混在し、内陸部に多くの工場が進出している背景として、最も重要な要因は何ですか。 (2022年 山口公立入試 類似)
1. 高速道路網の発達により、トラックによる迅速な輸送が可能になったこと 2. 掘込港湾の建設により、大型の貨物船による原材料の輸入が容易になったこと 3. 冷涼な気候を活かして、精密機械の組み立てに必要な環境が整ったこと 4. 近隣に大規模な油田があり、石油化学工業の原料を安価に調達できたこと
- 問6 明治政府が輸出を拡大するために1872年に設立した官営模範工場であり、現在は世界文化遺産に登録されている富岡製糸場が所在する、関東地方北西部の内陸に位置する県はどこですか。 (2023年 福岡県公立入試 類似)
1. 群馬県 2. 長崎県 3. 福岡県 4. 三重県
- 問7 1970年代初頭から2019年にかけての関東地方における工業出荷額の統計的な変化について、正しく述べているものはどれですか。 (2022年 東京都公立入試 類似)
1. 総出荷額が約3.8兆円から約30.5兆円へと大幅に増大し、中でも輸送用機械の占める割合が全体の2割を超えるまで上昇した 2. 産業構造の変化により繊維工業の出荷額が急増し、2019年には地域全体の出荷額の約2割強を占めるようになった 3. 輸送用機械の出荷額は1971年時点がピークであり、2019年にかけて出荷額・割合ともに減少を続けている 4. 総出荷額は横ばいであるが、航空機産業の出荷額が約6.7兆円に達し、輸送用機械に代わる基幹産業となった
- 問8 1960年代から70年代にかけて、東京の多摩や大阪の千里、泉北などでは、大規模な計画住宅地の造成が進められました。このような開発が行われた背景として、最も適切な説明はどれですか。 (2024年 鳥取公立入試 類似)
1. 都市圏での深刻な住宅不足に対応するため、郊外の丘陵地などを大規模に開発した。 2. 輸産産業の拠点とするため、沿岸部の埋め立て地に大規模な工場を集積させた。 3. 都心の老朽化した建物を集約し、高層マンションやオフィスビルに建て替えた。 4. 地方の過疎化を防ぐため、農村部に新たな公共施設や商業施設を整備した。
- 問9 千葉県の沿岸部に形成された京葉工業地域について、その土地形成の背景と産業の特色を説明した文として最も適切なものを選びなさい。 (2024年 東京都公立入試 類似)
1. 東京湾の埋め立て地に、製油所や製鉄所、火力発電所などが一体となった石油コンビナートが建設された。 2. 広大な干拓地を利用して、自動車の組み立て工場を中心とした輸送用機械の製造が発展した。 3. 丘陵地を切り開いたニュータウンに、付加価値の高い電子部品などを製造する先端技術産業が集まった。 4. 古くからの港町を中心に、繊維工業や食料品工業といった軽工業から発展し、現在は化学工業が盛んである。
- 問10 千葉県八千代市周辺では、1980年代には畑が広がる農村地帯でしたが、1996年の東葉高速鉄道の開通を機に地域の様子が大きく変化しました。八千代中央駅などの新駅設置に伴い、この地域がたどった変化として最も適切なものはどれですか。 (2021年 東京都公立入試 類似)
1. 大規模な工場が次々と建設され、京葉工業地域の一部として発展した 2. 都心へのアクセスが向上したことで、農地から急速に住宅地へと変容した 3. 駅周辺に大規模な商業施設のみが集中し、居住者が減少するドーナツ化現象が起きた 4. 森林が伐採された後、機械化された広大な大規模農地へと再編された
- 問11 関東地方の東京都や埼玉県、千葉県などに広がる台地の表面を厚く覆っている土壌について説明します。この土壌は、富士山や箱根山などの噴火によって飛来した火山灰が長い年月をかけて降り積もってできたもので、酸化鉄の影響で赤色を呈しています。このような土壌を何と呼びますか。 (2026年 福島公立入試 類似)
1. 関東ローム 2. シラス 3. まさ土 4. 泥炭
- 問12 千葉県の太平洋側に位置する九十九里浜は、弓状の平坦で単調な海岸線が約66kmにわたって続いています。川から運ばれた土砂や、周辺の海食崖が削られて生じた砂が堆積して形成された、このような地形を何と呼びますか。 (2024年 千葉県公立入試 類似)
1. 砂浜海岸 2. リアス海岸 3. フィヨルド 4. 干拓地
- 問13 日本の大都市圏では、都心部と周辺部の間で人口の移動が激しく、統計上の指標に大きな差が生まれます。東京都のように、昼夜間人口比率が100%を大幅に超え、周辺地域から多くの人々が流入する要因として、最も適切な背景はどれですか。 (2021年 徳島公立入試 類似)
1. 政治や経済の中核機能が集中し、就業や通学の機会が多いため 2. 広大な農地が確保されており、農業従事者の流入が多いため 3. 住宅価格が安く、周辺の県から移住する子育て世帯が多いため 4. 豊かな自然環境を求めて、老年人口の転入が急増しているため

答え合わせ・解説

問1	答え 1 千葉県	千葉県は京葉工業地域を擁しており、工業出荷額が極めて高い一方で、近郊農業や稲作も盛んな県です。特に印刷業については、大消費地である東京都に隣接していることから、製本や印刷の工場が多く立地しています。農業面では、都市に近い利点を生かした野菜生産だけでなく、県北部を中心に稲作も広く行われています。
問2	答え 1 千葉県	千葉県は、大消費地である東京に近い立地を活かした近郊農業が盛んで、農業産出額が全国的に見て非常に高い水準にあります。工業面では、東京湾沿岸の埋め立て地に形成された京葉工業地域を中心に、石油化学コンビナートや製鉄所が集積しており、特に石油・石炭製品の出荷額が大きな割合を占めているのが特徴です。
問3	答え 1 住宅購入費用を抑えたい人々が、地価の安い郊外を選択して居住するため。	地価と人口移動の間には、家計の経済的な判断が働いています。都心部で地価が高騰すると、同じ予算で確保できる住居の面積が狭くなったり、家賃・ローンの負担が過大になったりします。そこで、都心部と比較して地価が安い郊外に住宅を構えることで、広い住空間や手頃な住居費を確保しようとする動きが強まります。これが郊外における人口増加の直接的な背景です。
問4	答え 1 ブラジル	1990年の出入国管理及び難民認定法（入管法）の改正により、日系人とその家族が日本で制限なく働けるようになったことを背景に、南米のブラジルから多くの人々が来日しました。自動車工業などの製造業が集積する地域で労働力として活躍しており、自治体もポルトガル語の相談窓口を設けるなど、多文化共生の取り組みを進めています。
問5	答え 1 高速道路網の発達により、トラックによる迅速な輸送が可能になったこと	北関東工業地域は、東北自動車道や関越自動車道、北関東自動車道などの高速道路網が整備されたことで、内陸部であっても製品を効率よく市場へ運べるようになったため発展しました。これにより、広い用地を必要とする機械工場や、原料の配送が重要な食品工場などが内陸部へ進出する「内陸型工業」の形が定着しました。
問6	答え 1 群馬県	富岡製糸場は、明治政府が外貨獲得のために高品質な生糸を大量生産する目的で、現在の群馬県富岡市に設立しました。群馬県は江戸時代から養蚕業（カイコを飼って繭をとる産業）が盛んであったため、原料となる繭の調達に非常に有利な条件が整っていました。長崎県などは「明治日本の産業革命遺産」として別の世界遺産に関連していますが、富岡製糸場は群馬県に位置します。
問7	答え 1 総出荷額が約3.8兆円から約30.5兆円へと大幅に増大し、中でも輸送用機械の占める割合が全体の2割を超えるまで上昇した	関東地方の工業は、約50年間で総出荷額が10倍近くに拡大しました。1971年時点では輸送用機械の割合は8.5%に過ぎませんでしたが、2019年には22.1%（約6.7兆円）へと急成長しており、自動車産業などが地域の経済を牽引する重要な役割を担うようになっています。
問8	答え 1 都市圏での深刻な住宅不足に対応するため、郊外の丘陵地などを大規模に開発した。	高度経済成長期、都市部への人口集中により住宅が著しく不足しました。この問題を解消するため、都心から離れた郊外の山林や丘陵地を切り開き、計画的に「ニュータウン」が建設されました。多摩（東京）や千里（大阪）はその代表例であり、都市圏の拡大を象徴する出来事です。
問9	答え 1 東京湾の埋め立て地に、製油所や製鉄所、火力発電所などが一体となった石油コンビナートが建設された。	京葉工業地域は、高度経済成長期以降に東京湾を大規模に埋め立てて確保された工業用地に、原料の輸入や製品の出荷に便利な臨海型の工場が集積して成立しました。特に、複数の工場が原料やエネルギーを効率よく融通し合う「石油コンビナート」が形成されている点が、この地域の最大の特徴です。愛知県の中京工業地帯（輸送用機械）や、兵庫県などの阪神工業地帯（化学・金属）との違いに注意が必要です。
問10	答え 2 都心へのアクセスが向上したことで、農地から急速に住宅地へと変容した	東葉高速鉄道の開通と八千代中央駅の開業により、東京の大手町などの都心部へ乗り換えなしで移動できるようになり、利便性が飛躍的に高まりました。その結果、かつて畑や造成中であった土地には多くの住宅が建ち並び、都市近郊のベッドタウンとして急速に住宅地化が進みました。
問11	答え 1 関東ローム	関東地方の台地で見られる赤色の土層は「関東ローム」と呼ばれます。これは数十万年前から続く火山活動（主に富士山や箱根山）によって噴出された火山灰が、偏西風に乗って運ばれ、地表に堆積して形成されたものです。九州南部の火山灰台地を作る「シラス」や、中国地方などで見られる花こう岩が風化した「まさ土」と区別して覚える必要があります。
問12	答え 1 砂浜海岸	千葉県の九十九里浜は、日本を代表する砂浜海岸の一つです。山地が沈水して複雑な入り江を作るリアス海岸とは異なり、砂が堆積することで平坦で単調な景観が作られるのが特徴です。九十九里浜は背後に広大な平野（九十九里平野）を伴っており、古くから地引網漁なども盛んに行われてきました。
問13	答え 1 政治や経済の中核機能が集中し、就業や通学の機会が多いため	東京都には中央官庁や企業の公署、大学などの教育機関が密集しています。このため、昼間には仕事や学びのために埼玉県や千葉県、神奈川県などの周辺地域から生産年齢人口を中心とした膨大な人数が移動してきます。その結果、昼間人口が夜間人口を大きく上回る「昼夜間人口比率の高い都市」としての特性が生まれます。